



2021年度
新設

GLOBAL INNOVATION CLASS

グローバルイノベーションクラス

高校新クラス

GUIDE BOOK

2023



聖学院 中学校
高等学校

GLOBAL INNOVATION CLASS

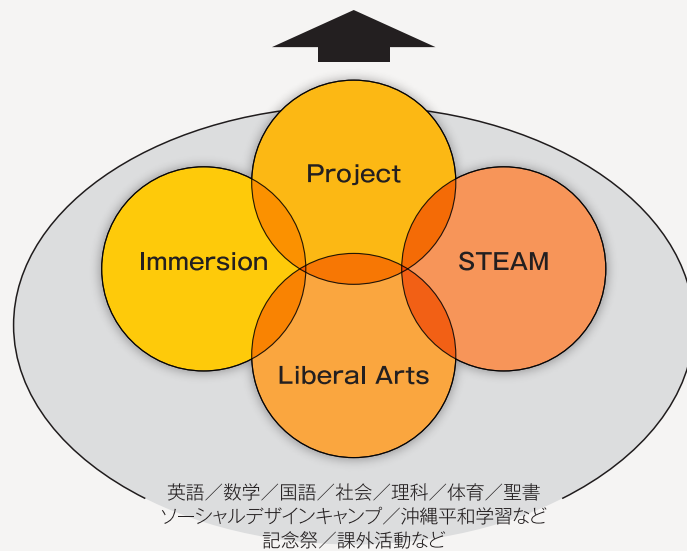
「ものづくり」「ことづくり」を通して 世界に貢献できる人を育てるクラス

本校では、これまで探究型教育を、授業・宿泊行事・海外研修等の中に数多く取り入れてまいりました。そこでこの度、世界に対して「ものづくり」「ことづくり」を通して貢献できるグローバルリーダーを育成するため、高校新クラスを新設します。それが「Global Innovation Class」です。グローバル課題やSDGsを自分事として理解し、高次の研究力・協働力・創造力を育成するために、「Immersion」「STEAM」「Project」の3つを柱にした教育を展開します。

また3本柱の土台として、一般教科および「Liberal Arts」を行います。特に「Liberal Arts」では、ロジカルシンキング・クリティカルシンキングを書籍やニュース記事をもとに学んでいきます。以上のプロセスを経て、世界的な課題を自分事としてとらえ、「ものづくり」「ことづくり」を通して課題解決～価値創造できる人財を育てます。これは本校の教育理念「Only One For Others」を真に具現化できる人財の育成であり、本校次世代教育の象徴的なクラスになると確信しています。

【生徒の育成像】

世界的な課題に対して自分事として取り組める
「ものづくり」「ことづくり」を通して、他者や世界に貢献できる
海外大学進学や海外留学等、世界を視野に入れて学ぶことができる



聖学院の英語授業では「SSコース」を設置（週6時間）

同コースでは、ネイティブ教員によるオールイングリッシュの授業にて、英語でのプレゼンテーション、英字新聞の多読、エッセイの練習などを行っています。英字新聞などを使い、「ソーシャルイシュー」（社会問題）に触れながら、そこで用いられている実践的な単語や表現方法を学びます。次に自分の考えをまとめて意見を述べたり、ディスカッションしたりします。ソーシャルイシューを取り入れることで、内容の濃い議論ができ、単に英語の表現を学ぶことにとどまらない充実した授業となっています。

※英語は習熟度別授業となっており、SSコース、Sコース、Aコース、Bコースの4コースで展開。
SSコースは英検2級以上のコースです。

●2021年度 時間割例

	月	火	水	木	金	土
1	物理基礎	英語表現	古典	数学I	Immersion Competency	STEAM ICT
2	数学I	英語C	物理基礎	英語C	世界史A	
3	英語C	古典	日本史A	聖書	数学I	Project
4	体育	英語C	日本史A	英語表現	体育	
5	Immersion SDGs	STEAM Design	世界史A	STEAM Science	Liberal Arts	
6			LHR			

Liberal Arts（週2時間）

社会課題を自分事として考えることができ、「ものづくり」「ことづくり」のための技術を身につけても社会で起きている事象をインプットし、それを理解する下地がなければ自分が目指す世界は実現できません。特に現在起きている社会課題は一つの側面だけを見て解決することは困難です。様々な問題が複雑に絡み合っています。明確な答えがないからこそバイアスを排除しフラットに情報を捉え、客観的かつ論理的に考える力が必要です。そのため、Global Innovation Classでは書籍やニュース記事を題材にディスカッションやディベートを行い、ロジカルシンキングやクリティカルシンキング、ビジョンメイキングという力を獲得していきます。

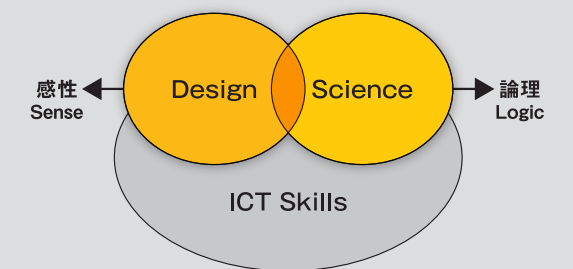
Immersion（週3時間）

SDGsを英語で学ぶ授業です。現代社会・家庭科などの内容を中心に、SDGsを英語で学び、英語でディスカッション・プレゼンテーションをします。そのために必要なグローバルスキルも英語で習得します。異文化におけるコミュニケーション、社会課題に対して英語で議論し、シンキング・ストラテジーやリーダーシップなど6つの重要なスキル・マインドを「英語で」習得するプログラムです。ディスカッション、アクティビティ、プロジェクト、発表を通して、生徒中心の学びを形成します。週6時間の英語授業とは別に週3時間「Immersion」を英語で学ぶため、社会とつなぐツールとしての英語力が身につきます。



STEAM（週6時間）

STEAMとは、「科学」「技術」「工学」「芸術」「数学」の5つの頭文字を組み合わせたもので、情報の抽出・分類・比較するスキルや、課題発見・解決に向けた創造・表現のスキルを育てる教育プログラムです。「サイエンス」「デザイン」を軸にICT Skillsを活用しながら「ものづくり」「ことづくり」に必要なツールを学び、論理と感性の両面を大切に創造力を育成します。週6時間の授業は全て探究型授業で構成され、課題解決・価値創造のための問いからスタートします。必要性を感じて知識や思考スキルを習得していきます。



Project（週2～4時間）

ゼミ形式の授業で、国際系・社会系・環境系などのテーマから自分で選びます。その中で、自ら課題を設定し、その課題解決に向けて学内外で連携し、協働・研究活動を行います。その成果発表に向けた準備のための「Project Week」を設定します。「Project」はGlobal Innovation Classの集大成となる時間です。

●プロジェクト科の構成

高1	Project①	Project week①	Reflection①
高2	Project②	Project week②	Reflection②
高3	探究論文		



Tescher's view

Global Innovation Class の今後の展望



高校新クラス設置統括長・広報部長
児浦良裕先生

高校Global Innovation Classは「ものづくり・ことづくりを通して世界に貢献する」をコンセプトとしており、独自科目「Immersion」「STEAM」「Project」「Liberal Arts」の4つを中心に展開しています。現在、世界では様々な問題が起こっており、地球環境や世界平和を守ることが急務となっています。また、日本国内では少子高齢化がすすみ、経済停滞・地方消滅など、課題先進国として解決しなくてはならないことが山積みとなっています。そのような課題を解決し、明るい未来の世界をつくっていく主役は今の若者たちです。これからの世界を制作していく若者たちにとって、かけがえのない原体験を提供し、世界の現場で生き抜いていくためのグローバルマインドやスキルを身につけるための教育を行っています。また、ものづくり・ことづくりに必要なスキルやツールを学び、世界の誰かに貢献できる優しい自立した挑戦者を育成するために、数多くの教育機会や教育環境を整えています。実際の高校GICの生徒プロジェクトでは、北区志茂四丁目の町会と連携し、オンライン防災ワークショップを実施し、高齢者のための防災啓蒙活動を行っている生徒がいたり、様々な社会貢献プロジェクトが生み出されています。

STEAM

STEAM 教育の授業の紹介



色の三原色

「そもそも色彩とは何か?」という視覚効果を問うことから始まるSTEAM授業。色や光の三原色といった色彩学を学びながら絵具の混色や赤青緑のライトを混ぜる実証実験を行います。色を知る過程で「卵テンペラ」という技法を用いて絵具そのものを作ったり、色の素となる顔料粉末を作る実験も行います。色自体の持つリアルな豊かさや鮮やかさを手と目、肌で実感することを通して新しい価値観やヒラメキを見出し、ものづくりの原点を体験します。その後、美術×理科×情報の3教科横断的のワークに移行していきます。



音の感覚ストレッチ

色に関する気づきを促すデイリーワーク。色彩のイメージや視点を体現するために各自「色」を写真で集め、かたちに起こします。普段とは異なる角度や側面から見ることで、気づかなかった物事の本質や仕組みを捉えることを追究し、レポート作成と発表を実施します。



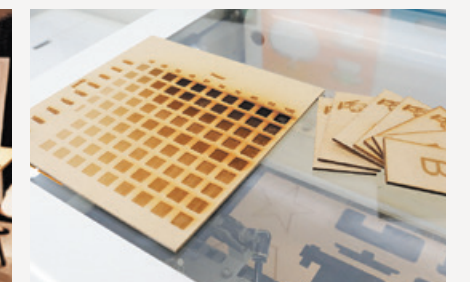
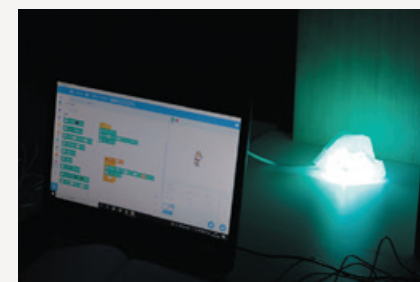
色の感覚ストレッチ

MakeyMakey(プログラミングによって、シンプルな基盤に身近なものを繋ぐだけでそれ自体を楽器にできるツール)を使って、日常にある物と組み合わせる人が幸せになる「音を奏でるシステム」を制作。驚きや新たな発見を体験し、世界観を広げています。



光空間のプログラミング

プログラミングでILLUMEを光らせ、五感を使った空間デザインを制作・演出し、その空間の中で対話型鑑賞をします。(経済産業省STEAMLibrary実証授業校として掲載)



IMMERSION

Immersionの授業の紹介



英語で社会科（公共）を学ぶ

社会科の教員とネイティブ教員が担当し、海外のテキストを用いて英語でSDGsを学びます。授業では、学んだ内容に基づきサステナブルな街をデザインしてプレゼンしたり、架空の国を支援するプランを考えるなど、英語でアウトプットします。学年末には、1年間のリフレクションとして、3ページほどのエッセイを英語で書きました。



英語で家庭科を学ぶ

「世界のどこへ行っても生活する力を身につける」を目的に、持続可能な生活や環境、文化を考え、自分達の考えを英語でアウトプットしていく授業を展開しています。「食を通して海外の国・地域や異文化を知る」「食と環境や健康の関係を考える」といった、グローバルな視点を養い、自分の意見を英語でアウトプットしていきます。ほかにも、世界各地のコミュニティや家庭のあり方、フェアトレードや世界で生きていくための生活経済について学んでいます。

PROJECT

Projectの実施例の紹介

●現在進行中のプロジェクト

※以下のプロジェクトは常設ではありません。生徒の成長により目的を果たし、終了するものもあります。

宗教・文化

●プロジェクトの目標=聖書の思考方法を探求することで「神を仰ぎ 人に仕う」「Only One for Others」を体現する聖人を育成する。

【プロジェクトの内容】キリスト教精神や宗教的な理念によって運営されている企業や団体の活動を研究・調査し、理論と実践について学ぶ。「自分とは何か」という永遠の問いに挑む。聖書の文化を理解し、現代社会への適用や融合を考え、文化的な軋轢に対して行動する。

起業・国際

●プロジェクトの目標=自分の限界を知り、一方で自分の限界の裾野を広げる小さな成功体験を積み上げ、創造社会を生きていく人財を目指す。

【プロジェクトの内容】まず国内で、起業に必要な知識と経験を積み、資金を集め、商品をつくり、販売ルートを開く。さらにタイでも起業する。そしてその事業をタイの人たちに引き継いでもらう。これが現実の貧困問題に立ち向かうことに繋がるかどうかを検証する。

環境・海洋

●プロジェクトの目標=自分たちの消費生活のあり方と環境への影響をふまえ、持続可能な社会に向けて経済活動・行動ができる人財を育成する。

【プロジェクトの内容】調査方法（サンプリング・顕微鏡観察など）、データ処理方法、情報収集方法を学び、プラスチックに変わる製品の開発、動画作成、マイプロジェクトアワード・学会発表などを行う。

音・食・体×生活

●プロジェクトの目標=生活・社会課題を発見でき、音食体を使って用いた解決策が立案でき、SDGsや共生社会実現を目指す人財を育成する。

【プロジェクトの内容】北東京地域の住民の課題を発見し、その課題を音・食・体を使って解決する方法を考案、研究する。音、料理、パフォーマンスを用いたプロトタイプを作り、プレゼンテーションする。

哲学・メディア・芸術

●プロジェクトの目標=自己の内発的動機や、今ある世界への違和感から問いを「哲学」し、探究し、自己の外へ開く手段である「メディア」を求め、世界にまだない何かを創り出す「芸術」をする。

【プロジェクトの内容】自己の関心領域、テーマを見定め「どうしたいか」を考える。高Iと高IIが連携し、お互いに教え、導き合い、対話する。個々人の領域や手段を掛け合わせて、どこに出すかを考えながら、表現活動を行う。

Student's view

一人ひとり得意分野があるから助け合えるし成長できる



2年
中島 康成 くん

GICには様々なタイプの生徒がいます。パソコンが得意だったり、教科は抜群だったり、資料作りが上手だったり、英語が完璧に話せたり、生徒の数だけ特徴があります。そして得意な分野を突き詰めているからこそ、お互いにリスペクトし合っています。分からないことは気軽に聞けますし、教えあって生徒間で成長できます。またそれぞれの得意分野におけるポテンシャルが高いため、協働したときに自分たちの想像を超える成果を得たり、思いもよらなかったアイデアが生まれたりします。今僕が興味を持っているのは貧困と環境です。聖学院は授業や課外活動でSDGsについて触れる機会が多い学校です。その中で繰り返し出てくる課題が貧困と環境です。この2つのテーマは複雑に絡み合っていて、どちらかを解決しようとするともう一方に負荷がかかります。矛盾が起きやすいこの2つのテーマをどう両立させていくかクラスメイトと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

自由に闊達な雰囲気があるからどんどん自分の意見が言えるようになりました。



2年(高入生)
樋原 颯 くん

僕は高校から聖学院に入りました。聖学院に入って成長を感じるのにはアウトプットをできるようになったことです。今までは知識をため込むだけでした。しかし、GICはアウトプットをする授業がたくさんあります。Liberal Artsでも討論をしますし、英語でSDGsや社会のことを学ぶImmersionも発言しないと何も進みません。さらにはクラスの雰囲気も後押しをしてくれます。僕はあまり自分の意見を発言するのが得意ではありませんでした。GICではクラスみんなが自分の意見を持っていて自由に発言し、どんどん共有していきます。その影響もあり、僕も多様なテーマを深く考え、自分の言葉として発言できるようになりました。今は子育て中の親がお互いに悩みを相談したり、信頼関係を構築していくためのキッカケとなるお弁当づくりワークショップを企画・運営しています。社会で起きている課題に興味がある人、普通の高校では学べないことに触れたい人にはとてもいいクラスだと思います。

GICで学んだ力で、より多くの人に貢献したい。



2年
西 大河 くん

高校1年生のSTEAMの授業でMakeyMakeyという物を充電させて音を鳴らすプログラムツールを使いました。この授業で僕はスポーツと音楽を掛け合わせ、サッカーボールがポストに当たったら音が出るプログラムを考えました。ゴールが決まればもちろんその選手のモチベーションが上がります。でもあと一歩のところまでゴールが決まらなくても、その選手をエンカレッジしたい。MakeyMakeyを使って前向きになる効果音を鳴らせば、そういうことができるのではないかと思います。GICで培われる力は、何かを作る力ではなく、それを使って何かをする力だと思います。僕の場合は誰かを後押しする力が身につきました。今は、生活が困難な人を相互に助け合う強固な地域コミュニティの作り方に興味があります。僕一人ではサポートできる人数に限界がありますが、コミュニティの力を活用すればその可能性は無限に広がっていきます。GICで学ぶことで、より多くの人に貢献できるようになりたいと思います。

2020~2022年度合格実績 (聖学院高校全体)

海外大学

University of Pennsylvania (米)
University of Washington (米)
University of California, Davis (米)
University of California, San Diego (米)
University of Southern California (米)
Boston University (米)
Fordham University (米)
Syracuse University (米)
Art Center College of Design (米)
Grinnell College (米)
Carleton College (米)

Lake Forest College (米)
Temple University (米)
City University of New York (米)
University of British Columbia (加)
University of Toronto (加)
Griffith University (豪)
Monash University (馬)
北京外国語大 (中)
国立成功大学 (台)
逢甲大学 (台)
義守大学 (台)

国立中央大学 (台)
国立台湾師範大学 (台)
中原大学 (台)
輔仁大学 (台)
東呉大学 (台)
世新大学 (台)
国立中山大学 (台)
東海大学 (台)
実践大学 (台)
国立中興大学 (台)
中國文化大学 (台)

[高等学校] オンライン型国際生入試 募集要項

試験日	2022年 11月5日 (土)
出願期間	2022年 10月15日 (土) 9:00 → 11月3日 (木) 23:59
試験科目	英作文+面接 (英語・日本語)
募集人員	オンライン型・来校型あわせて5名
合格発表	HP 面接翌日 12:00 ~
合格判定	Global Innovation Class
入学手続き締切日	2023年 1月20日 (金) 17:00
時間配分	問題公開時間 2022年11月5日 (土) 9:00 (日本時間) 英作文 (30分程度)
	解答提出期限 2022年11月5日 (土) 23:59 (日本時間) 英語面接 ※英検2級レベル (20分程度) 日本語面接 (10分程度)

●出願方法

インターネット出願

●出願資格

①2023年3月に中学校卒業(卒業見込)または同等の学力を有する男子。

②原則として海外在住期間が1年以上、帰国後3年以内(現海外在住者を含む。)

※上記に準ずる海外在住経験等の条件を配慮いたします。事前にご相談ください。

※ご家庭の宗教によって入学資格・試験などの基準を制限することはありません。

●受験料 24,000円

●必要な書類

提出書類 海外在留証明書(保護者勤務先発行)

提出期限 2022年11月3日(木) 必着

提出方法 以下①②のいずれかを選択

①簡易書留 ②メール(アドレス shiken@seigakuin.ed.jp)

②の場合は件名に【出願者氏名】【受験番号】を明記の上、添付して送信

●窓口取扱時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日は事務の取り扱いを行いません。

オンライン型・来校型の
W受験は不可

[高等学校] 来校型国際生入試 募集要項

	A方式	B方式
試験日	2023年 1月22日 (日)	
出願期間	2023年 1月16日 (月) 9:00 → 1月19日 (木) 16:00	
試験科目	英語筆記+面接 (英語・日本語)	英語+思考力+面接 (日本語)
募集人員	オンライン型・来校型あわせて5名	
合格発表	HP 当日 20:00 ~	
合格判定	Global Innovation Class	
入学手続き締切日	2023年 2月17日 (金) 17:00	
時間配分	受付 8:30~8:45 1時間目 英語 ※英検2級~準1級レベル (60分)	受付 8:30~8:45 1時間目 英語 ※英検3級~準2級レベル (60分)
	2時間目 英語面接 (20分程度) 日本語面接 (10分程度)	2時間目 思考力 (90分) 3時間目 日本語面接 (20分程度)

●出願方法

インターネット出願

●出願資格

①2023年3月に中学校卒業(卒業見込)または同等の学力を有する男子。

②原則として海外在住期間が1年以上、帰国後3年以内(現海外在住者を含む。)

※上記に準ずる海外在住経験等の条件を配慮いたします。事前にご相談ください。

※ご家庭の宗教によって入学資格・試験などの基準を制限することはありません。

●受験料 24,000円

●必要な書類

提出書類 海外在留証明書(保護者勤務先発行)

提出期限 2023年1月19日(木) 必着

提出方法 以下①②のいずれかを選択

①簡易書留 ②メール(アドレス shiken@seigakuin.ed.jp)

②の場合は件名に【出願者氏名】【受験番号】を明記の上、添付して送信

●窓口取扱時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日は事務の取り扱いを行いません。

オンライン型・来校型の
W受験は不可

[高等学校] 推薦入試 募集要項

試験日	2023年 1月22日 (日)
出願期間	2023年 1月16日 (月) 9:00 → 1月19日 (木) 16:00
試験科目	適性検査 (2科) + 面接 適性検査 (英語・思考力) / 面接
募集人員	5名
合格発表	HP 当日 20:00 ~
合格判定	Global Innovation Class
入学手続き締切日	2月17日 (金) 17:00
時間配分	受付 8:30~8:45
	適性 (英語) ※英検3級~準2級レベル (60分程度)
	適性 (思考力) (90分程度)
	面接 (20分程度)

●出願方法

インターネット出願

※公立高校受験者で入学手続き延期を希望される方は、本校所定の「入学手続き延期願」を提出の上、出願してください。

●出願基準

- ①2023年3月に中学校卒業見込の生徒。
- ②内申点の合計が3教科(英数国)で12以上、かつ5教科全てにおいて2以下がないこと。
- ③2学期制の場合は後期中間まで、3学期制の場合は第2学期までの成績で上記の要件を満たしていること。
- ④英検準2級は+1点、英検2級は+2点、英検準1級以上は+3点の加点を行う
(TOEFL等のテストも加点しますのでご相談ください)。
- ⑤推薦入試希望者は、2022年12月15日(木)以降に学校間による「入試相談」を要する。

●受験料 25,000円

●必要な書類

提出書類	調査書(公立高校出願用)
提出期限	2023年1月19日(木) 必着
提出方法	以下①②のいずれかを選択 ①簡易書留 ②インターネット出願時に直接入力

●窓口取扱時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日は事務の取り扱いを行いません。

[高等学校] 一般入試 募集要項

試験日	2023年 2月11日 (土・祝)
出願期間	2023年 1月25日 (水) 9:00 → 2月8日 (水) 16:00
試験科目	英語+思考力+面接
募集人員	10名(併願優遇措置5名)
合格発表	HP 当日 20:00 ~
合格判定	Global Innovation Class
入学手続き締切日	2月17日 (金) 17:00 (公立高校受験者を除く)
時間配分	受付 8:30~8:45
	1時間目 英語 ※英検3級~準2級レベル (60分)
	2時間目 思考力 (90分)
	3時間目 面接 (20分程度)

●出願方法

インターネット出願

※公立高校受験者で入学手続き延期を希望される方は、本校所定の「入学手続き延期願」を提出の上、出願してください。

●出願基準

- ①2023年3月に中学校卒業見込の生徒。

●併願優遇措置希望の方

- ①内申点の合計が3教科(英数国)で12以上、かつ5教科全てにおいて2以下がないこと。
- ②2学期制の場合は後期中間まで、3学期制の場合は第2学期までの成績で上記の要件を満たしていること。
- ③英検準2級は+1点、英検2級は+2点、英検準1級以上は+3点の加点を行う
(TOEFL等のテストも加点しますのでご相談ください)。
- ④併願優遇措置希望者は、2022年12月15日(木)以降に学校間による「入試相談」を要する。

●受験料 25,000円

●必要な書類

提出書類	調査書(公立高校出願用)
提出期限	2023年2月8日(水) 必着
提出方法	以下①②のいずれかを選択 ①簡易書留 ②インターネット出願時に直接入力

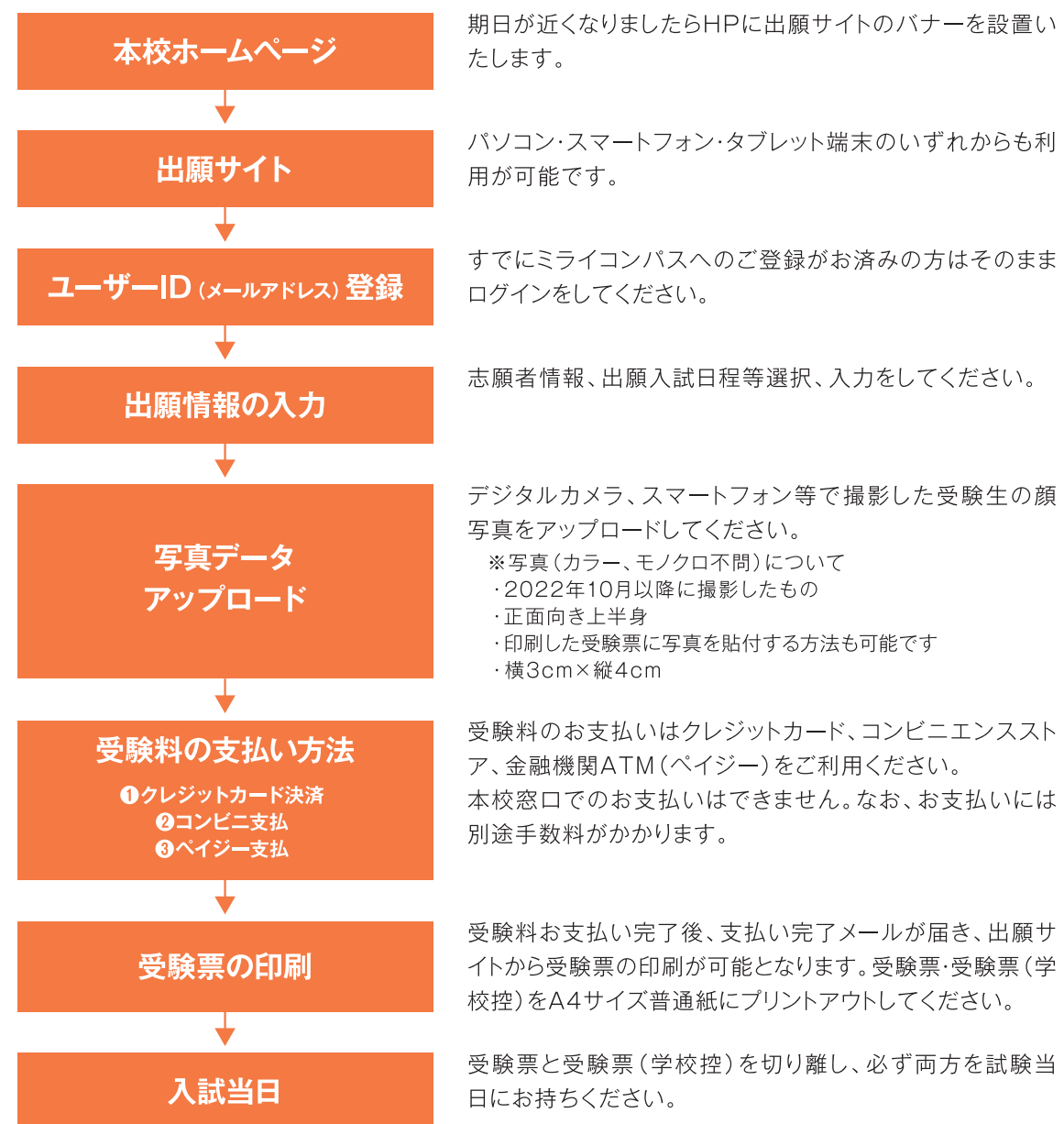
●窓口取扱時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日は事務の取り扱いを行いません。

インターネット出願について

- 公立高校受験者で入学手続きの延期をお考え方は
本校所定の「入学手続き延期願」を提出の上出願してください。(事務室にお申し出ください)
- 本校窓口や郵送による出願は行っていません。(一部提出書類のみ簡易書留の選択が可能です)
- 期間中は平日・土日・祝日24時間手続きが可能です。
- 各種クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーでのお支払いが選べます。
- **受験料お支払い後の内容の訂正、取り消し、返金は一切できませんのでご注意ください。**

出願手続きの方法



左記QRコードのサイトから詳細な手順確認ができます。
<https://www.mirai-compass.jp.net/nygk/>

試験当日の注意事項等

- 受験票および受験票(学校控)は必ず持参してください。
- 上履きと靴袋を持参してください。
- 受験生はアナウンスの指示に従い、試験会場へ移動してください。
- 試験開始より15分までは遅刻入場可能です。但し、時間の延長はありません。
- 受験生は指示に従って指定された教室に入場し受験をしてください。
- 面接のある試験の終了時間は順番により変わります。
- 携帯電話(スマートフォン等)・腕時計(スマートウォッチ含む)はカバンから出さないようお願いいたします。また携帯電話、スマートフォン類の電源はお切りください。
- 試験中にトイレへ行きたいときは試験監督に挙手をして申し出てください。トイレへ誘導します。但し、試験時間の延長はありません。
- 試験中に具合が悪くなったときは試験監督に挙手をして申し出てください。
- お車でのご来校はご遠慮ください。公共交通機関でのご来校をお願いいたします。
- 試験中の保護者控室は、当日ご案内いたします。
- 飲食される場合は本館地下1階学食・食堂ラウンジをご利用ください。(会場使用上の注意事項遵守にご協力ください。)

合否確認

本校HPの「合格発表バナー」からログイン画面に入り、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードは右記の通りです。

- ※ 受験番号の「0」は省略せずに入力してください。
- ※ 誕生日が1ケタの場合は0を前につけてください。
- ※ 当日の状況により発表時間が遅れる場合があります。
- ※ 発表直後はアクセスが集中するため一時的に接続しづらくなる場合があります。その際には少し時間をおいてから再度アクセスしてください。
- ※ お電話でのお問い合わせには一切お答えできませんのでご了承ください。

合格発表バナー

↓

聖学院中学校・高等学校
2023年度入試 結果確認ページ

ユーザー名: ← 受験番号

パスワード: ← 受験生の誕生日
例) 2010年6月12日生まれ
↓
20100612

諸費用

入学手続き時	入学金	250,000円
	施設費	125,000円
	小計	375,000円
月額	授業料	37,000円
	施設拡充費	4,000円
	PTA会費特別会費	10,000円
	積立金*	7,000円
	学年費*	5,500円
	GIC費	7,000円
	小計	70,500円
4月に発生する費用	PTA会費	7,200円
	生徒会費	7,700円
	後援会費	18,400円
	小計	33,300円

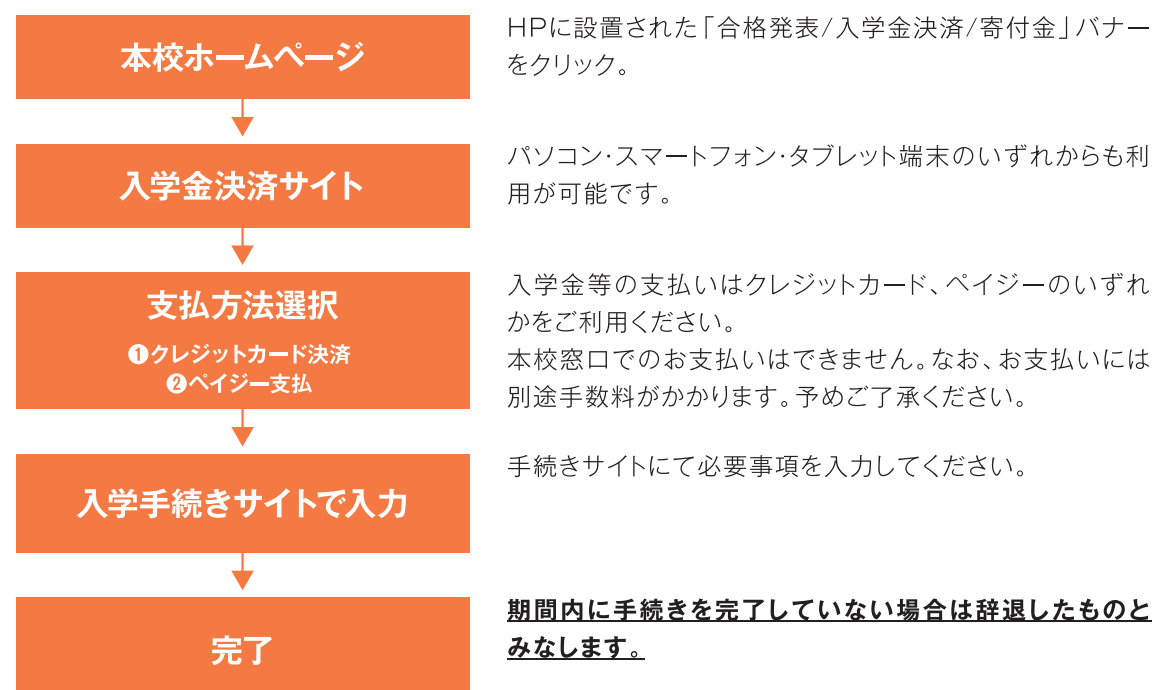
聖学院教育振興資金について

任意で入学手続き時に1口100,000円、2口以上にご協力をいただけますと幸いです。

※積立金・学年費について

副教材・クロスカントリー交通費・模擬試験・文集作成・体験学習（教育旅行等）費・卒業対策費等が含まれます。変更になる場合もございます。

入学手続きの方法



返金について

入学手続き完了後、期限までに辞退届けを提出された場合には入学金を除いた額を返金致します。

Global Innovation Classに関するQ&A

Q GICとレギュラー・アドバンスクラスとの違いは何ですか？

グローバルイノベーションクラス独自の科目が週13コマあります。イマージョン(3コマ)・STEAM(6コマ)・リベラルアーツ(2コマ)・プロジェクト(2コマ)の4科目で、探究型授業となります。残りの21コマはレギュラー・アドバンスクラスと同内容の授業となります。学校行事や宿泊型体験学習は共通のものとして行っていきます。現在、全学年全クラスにおいて1人1台端末をつかった授業・自宅学習を行っていますが、本クラスでは学校内使用のノートパソコン(MacBook)も活用し、STEAMの授業を中心に、各種アプリや3Dプリンタ等をつかったものづくり・ことづくりを行う機会が多く設定されています。また、イマージョンは週3時間オールイングリッシュの授業となります。英語“を”学ぶのではなく、英語“で”学び表現する時間となります。通常の英語が週6時間ありますので、9時間が英語に関する授業となります。また、プロジェクトでは、これまで学んできたことの集大成として、自分で研究テーマを設定し、研究・プロジェクト活動を実践していきます。

Q 英語力はどれくらい必要ですか？

英検準2級相当以上の英語力があることを推奨しています。ただ、英検3級相当でも本校の英語教育によって、成績伸ばいたしますので、是非チャレンジしてみてください。

Q 思考力入試はどのような内容ですか？

本校では、2013年度入試より合計10回、中学入試において思考力入試を行ってまいりました。そのノウハウを応用し、高校入試用の問題を作成しております。出題内容はSDGsや世界で起こっている問題について、自分なりに情報収集をし、課題解決・価値創造を文章表現していく入試となります。面接においては、受験生の賜物(才能・タレント)を発見できるように、解答内容について深掘りするために質問させていただきます。

Q 面接で聞かれることはどんなことですか？

本校への志望動機、本校で学習・活動したいこと、中学での印象的だった経験、自分の強みや好きなことなどを総合的に質問させていただきます。上記の思考力入試での解答内容についても質問させていただきます。

Q 事前相談などは必要ですか？

推薦入試や併願優遇措置を利用される方は、本校の学校説明会へ11月末までに参加していただき、本校担当者と個別相談をしていただくことが望ましいです。事前に学校の成績等をお持ちいただき、本校担当者に確認をとるようにしてください。また、現在通っている中学校の先生に本校の推薦入試や併願優遇措置を利用する旨を必ずお伝えください。8月以降の学校説明会・校内見学会では高校入試事前相談コーナーを設置いたしますのでご利用ください。

●入試科目について

[思考力]

聖学院では、「社会課題の自分事化」「思考力・表現力・主体性・協働性」が世界の課題解決には不可欠であると考えています。そのために国数理社を中心に教科の総合的な力を評価するための入試「思考力入試」を実施しています。Global Innovation Classで大切にしたいにしたい力を「思考力入試」に取り入れています。特に、右記の点を評価しています。

- 社会課題を自分事としてとらえる力
 - 情報を読み取る力、聴き取る力
 - 比較・分類する力
 - 自分なりに課題を発見・設定する力
 - アイデアをたくさん出す力
 - 文章として表現する力(作文・プレゼンテーション)
- ※句読点や誤字は減点しません。

[英語(推薦・一般ともに)]

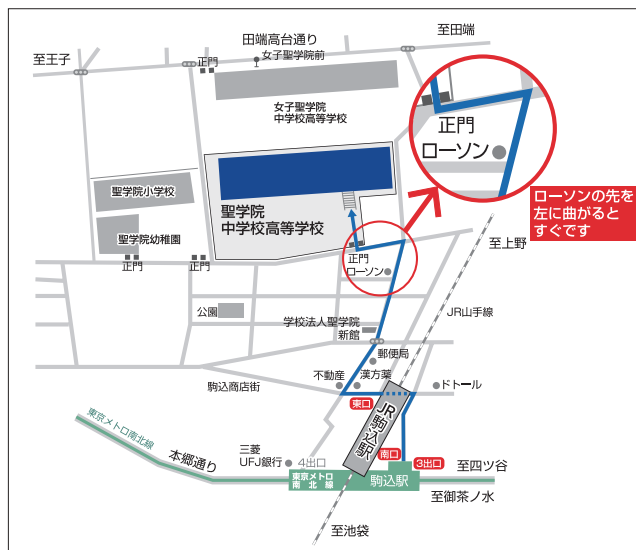
Global Innovation Classでは世界で活躍する人財の育成を目指しています。授業では、英語6時間と「Immersion」3時間、合計9時間を英語で学びます。したがって、英検準2級程度の英語力が必要となるために、入試問題も英検3級～準2級程度のレベルで設定しています。特に、Readingのテーマに対する自由英作文を課しており、自分の英語で表現する力を大切にしています。

※英作文の細かいミスは減点しません。

説明会情報

7月 2日(土)	オンライン学校説明会③
7月 9日(土)	国際生オンライン学校説明会②
7月23日(土)	レゴキング選手権・学校体験会[来校型]
7月30日(土)	高校 オンライン学校説明会①
8月27日(土)	学校説明会・体験会②[来校型] 高校入試相談あり
9月10日(土)	校内見学会[来校型]
9月24日(土)	学校説明会・体験会③[来校型] 高校入試相談あり
10月 8日(土)	校内見学会[来校型]
10月15日(土)	国際生オンライン学校説明会③
10月22日(土)	学校説明会・体験会④[来校型] 高校入試相談あり
10月29日(土)	高校 オンライン学校説明会②
11月12日(土)	校内見学会[来校型]
11月18日(金)	オンライン学校説明会④(イブニング)
11月26日(土)	入試対策説明会①[来校型] 高校入試相談あり
12月17日(土)	入試対策説明会②[来校型]
1月14日(土)	入試対策説明会③[来校型]

※開催内容を変更する場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。



●access
JR山手線 駒込駅 東口 徒歩5分
東京メトロ南北線 駒込駅 3出口 徒歩7分



聖学院 中学校
高等学校

お問い合わせ先 入試広報部
Tel 03-3917-1121 (代表)
(月～土 9:00～16:30)

<https://www.seigakuin.ed.jp/>
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1
Fax 03-3917-1438

